

令和5年度 東国文化自由研究

古墳を群馬の人気スポットに！

～「群馬といえば古墳！」と言われる未来へ～

群馬県立中央中等教育学校

1年3組8番

氏名 打尾春香

1.研究の動機

「東国文化自由研究」を行うに当たって、私は「かみつけの里博物館」「八幡塚古墳」「二子山古墳」を訪れた。ここには何度か訪れたことはあるが、今回、研究するという目線で改めて展示物などを見ると、知らなかった古墳の魅力などを感じることができた。

しかし、少し気になることがあった。それは、訪れている観光客が少なかったということだ。私がそこに訪れたときに見た観光客は4~5組程度。古墳にしては多いのかもしれないが、観光地としては少ないと思う。前に訪れたときもそのくらいの人数だった。

Webサイトによると、それぞれの都道府県の古墳の数のうち、群馬県の古墳の数は令和3年時点で12番目に多く、関東地方では2番目に多いという。

群馬県の古墳の例

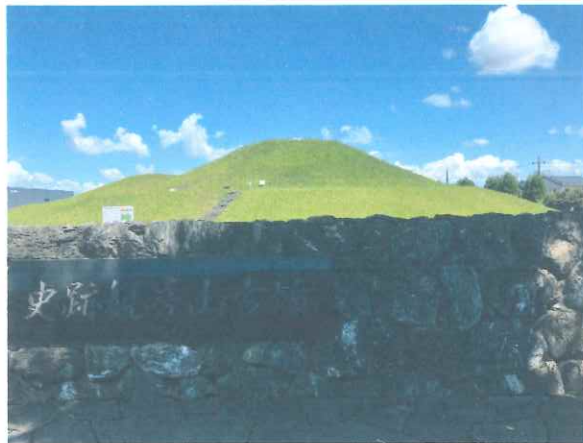
- ・ 観音山古墳
- ・ 天神山古墳
- ・ 女体山古墳
- ・ 保渡田古墳群
(二子山古墳、八幡塚古墳、葉師塚古墳)
- ・ 倉賀野古墳群
(浅間山古墳、大鶴巻古墳)
- ・ 白石古墳群
(七輿山古墳、白石稻荷山古墳、平井地区1号古墳、伊勢塚古墳)
- ・ 大室古墳群
(前二子古墳、中二子古墳、後二子古墳) など

また、この他に古墳関係の博物館も多く存在している。

そんな群馬県だが、実際古墳はあまり有名ではない。私の両親は富山県出身だが、群馬県に移住するまで、「群馬県は古墳が多い」ということを知らなかったようだ。私は、「群馬県にはせっきやく古墳や博物館が多く存在するのだから、それを利用して多くの人に古墳の魅力を伝えたい!」と思い、この研究をすることにした。目標は、「群馬といえば古墳!」と言われる未来を創ることだ。



↑八幡塚古墳 (8月7日 自分で撮影)



←観音山古墳

(8月11日 自分で撮影)

2.研究概要

(1) 研究のテーマ・目標

群馬県古墳やその博物館を有名にする。「群馬といえば古墳！」と言われるような解決策を考える。

(2) 研究の方法

大きく分けて、次の2つの流れで研究を行う。

①「なぜ、古墳やその施設を訪れる観光客が少ないのか」という問いの解決。

②①で分かったことをもとに解決策を考える。

《①の詳細》

①の問いを、「訪れた古墳・施設を分析する」「アンケートの結果から考える」という2つの方法で解決する。

「訪れた古墳・施設を分析する」では、私が訪れた下記の場所を分析する。

- ・かみつけの里博物館
- ・群馬県立歴史博物館
- ・八幡塚古墳
- ・二子山古墳
- ・観音山古墳
- ・大鶴巻古墳
- ・浅間山古墳

計7か所

「アンケートの結果から考える」では、20名にアンケートを取り、分析をして①の問いを解決しようと考えている。

《②の詳細》

①で分かったことをもとにして、現実的な解決策を考え、「群馬の古墳の知名度アップ計画書」を製作する。

(3) 群馬の古墳の知名度アップ計画書（仮）

研究前に、今知っていることと自分の要望から改善案を考えた。研究前ということであまり情報がないため、大まかな改善案となっている。

- 1.観光客が訪れやすい古墳になるような整備をする
- 2.イベントを増加させる
- 3.アクセスをしやすくする
- 4.古墳の宣伝

3.調査結果

①「なぜ、古墳やその施設を訪れる観光客が少ないのか」という問いの解決

1) 訪れた古墳、施設を分析する

それぞれの古墳・施設を訪れて分かった、長所と短所などをまとめた。なお、訪れていた観光客と年齢層は、私が訪れていた日のものである。何度か訪れた場所は、観光客が多い日のものを記した。

【博物館】

◎かみつけの里博物館

訪れていた観光客：5～6組程度

年齢層：親子（子どもは幼稚園生～小学校低学年）で訪れている人が多かった。

《長所》

- ・日本語の説明の近くに、英語の説明もある箇所が多い。
- ・動画の説明などがある。
- ・質問コーナー（付箋に書いた質問をスタッフさんが答えてくれるもの）がある。
- ・博物館のすぐ近くに古墳がある。
- ・イベントが多い。

《短所》

- ・難しい言葉を使った説明が多い。
- ・スタッフの方が受付にしかおらず、質問しづらい。
- ・アクセスが悪い。

*バスの本数が少ない

*車で行くときの案内表示が分かりにくい

など

《現地調査の感想》

母と車で訪れたが、案内表示が分かりにくく、着くまでに思ったより時間がかかったのが残念だった。しかし、施設内の展示は分かりやすく、とても勉強になった。

◎群馬県立歴史博物館

訪れていた観光客：15組程度

年齢層：子どもからお年寄りまでいたが、20代、30代は少なかった。

《長所》

- ・スマートフォンなどでQRコードを読み取ると、詳しい解説をしてくれる機能がある。
- ・3D映像で、埴輪などの細部を観察することができる。
- ・様々なイベントがある。その中のクイズラリーでは、展示物を見てクイズに答えることで色々なことを知ることができる。
- ・動画での説明や、複数の言語での説明がされている箇所が多い。
- ・各コーナーにスタッフの方がいて質問しやすい。
- ・アクセスしやすい。
- ・群馬の森の中にあるため、気軽に訪れることができる。

《短所》

- ・色々な時代の資料や展示があるので、古墳についての資料や展示がやや少ない。

《現地調査の感想》

県立だからなのだろうか、とても工夫がされている博物館だった。現代の技術を利用して、若者たちが利用しやすい場所になっていると感じた。しかし、これではお年寄りの方々が利用しづらくなるのではないかと少し心配になった。

【古墳】

◎八幡塚古墳

訪れていた観光客：4～5組程度

年齢層：かみつけの里博物館
とほぼ同じだった。

《長所》

- ・整備されている。
- ・分かりやすい解説板が所々にある。
- ・復元された埴輪などをじっくり観察することができる。

《短所》

- ・階段が急な箇所があり、危険。
- ・車椅子に乗っている方や足が弱い方は古墳の上まで登りづらい。

《現地調査の感想》

道は整備されていて歩きやすかった。また、整備されているので、気軽に訪れることができた。しかし、やはり階段が急な箇所があり、少し怖かった。

◎二子山古墳

訪れていた観光客：私のみ

年齢層：－

《長所》

- ・分かりやすい解説板がある。
- ・古墳の周りは整備されている。

《短所》

- ・古墳の上に行くときの階段が整備されておらず、歩きづらい。
- ・気軽に訪れづらい。

《現地調査の感想》

整備は少しされているが、階段などの周りは草が生えていて、八幡塚古墳と違ってパッと見て古墳だと分からなかったため、気軽に訪れることができないと思う。



←二子山古墳の階段（8月7日 自分で撮影）

◎観音山古墳

訪れていた観光客：1組程度

年齢層：60～70代

《長所》

- ・休憩スペース（ベンチ等）がある。
- ・古墳全体が整備されている。
- ・ボランティアの方（？）が色々解説してくれた。
- ・解説板や案内板が多く、分かりやすい。
- ・歩きやすい。
- ・アクセスしやすい

《短所》

- ・私が訪れた限りでは、短所は見つからなかった。

《現地調査の感想》

少し歩けば群馬県立歴史博物館があり、古墳自体も整備されていて訪れやすく、歴史を知ることができるので問題は特にないと感じた。それでも観光客が少ないのは、博物館等と違ってイベントがないからだろうか。

◎大鶴巻古墳

訪れていた観光客：私のみ

年齢層：一

《長所》

- ・「大鶴巻古墳」という看板や、注意書きが分かりやすい。

《短所》

- ・整備されていない。
- ・住宅地の中にあり、パッと見て古墳だと分からない。
- ・アクセスが悪い。

《現地調査の感想》

この古墳はほとんど整備されておらず、古墳の敷地内に行ってみたが、危険なので上に行くのは断念した。なぜか古墳内に畑があり、何かを育てていた。周りが住宅地なので整備が難しそうだった。



←大鶴巻古墳

(8月11日 自分で撮影)

◎浅間山古墳

訪れていた観光客：私のみ

年齢層：一

《長所》

- ・「浅間山古墳」という看板や注意書きが分かりやすい。

《短所》

- ・整備されていない。
- ・住宅地の中にあり、パッと見て古墳だとわからない。
- ・アクセスが悪い
- ・古墳の敷地の周りの道が細い。

《現地調査の感想》

大鶴巻古墳よりも整備されておらず、危険そうだったので敷地内に入るのを断念した。ここにも畑のようなものがあった。敷地の周りの道が細く、車で行くのが少し大変だった。周りが住宅地なので、整備が難しそうだった。



←浅間山古墳 (8月11日

自分で撮影)

2) アンケートの結果から考える

実施人数：20名

次は、私が実施したアンケートの結果を分析する。

まず、「あなたは、個人的に（学校の校外学習は含まない）古墳を見に行ったり、古墳関係の博物館に行ったりしたことはありますか？」という質問をした。「はい」と答えた人は8人、「いいえ」と答えた人は12人である。

次に、前の質問で「はい」と答えた人に、「どこに行きましたか？」という質問をした。8人中4人は「覚えていない」と回答したが、その他の人の回答は、「かみつけの里」「群馬県立歴史博物館」「八幡塚古墳」だった。

また、最初の質問で「はい」と答えた人に、「その時感じたことことはなんですか？」という質問をすると、以下のような回答が集まった（似ている回答は1つに絞った）。

- ・暑さのため、ゆっくりと見学できなかった。
- ・説明が分かりやすく、しおりを作るなどの体験ができた。
- ・良かった点：昔の様子をそのまま残してあったからその当時のことがよく分かった。
看板やパンフレットの説明が分かりやすかった。
- 悪かった点：ポイ捨てが多かった。
- ・色々なことが知れた。道が歩きづらかった。
- ・古墳への階段が少し急。
- ・大きな石（多分古墳の石）が転がっていて危なかった。
- ・ガイドさんの説明が分かりやすかった。光の反射などで見にくい展示品があった。

次に、最初の質問で「いいえ」と答えた人に、「あなたは、そこ（古墳関係の施設）に行ってみたいと思いますか？」という質問をした。「はい」と答えた人は5人、「いいえ」と答えた人は7人である。

この質問で「はい」と答えた人に理由を聞くと、以下のような回答が集まった。

- ・古墳は主に近畿～中部地方に多い印象があったが、群馬県にも深く関係することを最近知り、興味を持ったから。
- ・古墳についてよく知りたいから。
- ・古墳を見て、今の建造物との違いを見つけてみたいから。また、そこから昔の人の暮らしを推測してみたいから。
- ・昔のものに興味がある。
- ・歴史を知りたいから。

この質問で「いいえ」と答えた人に理由を聞くと、以下のような回答が集まった。

- ・古墳にあまり興味がないから。
- ・面白そうだけど、行きたいと思えるほどの興味はないから。
- ・あまり魅力を感じないから。
- ・めんどろくさいし、他に興味があることがあるから。

最後に、古墳関係の施設に対しての要望を聞いた。以下はその回答だ。（一部）

- ・難しい言葉の、説明などがあると良い。
- ・古くからのものをそのままの形でずっと残せるような管理や工夫、それを理解してもらうための分かりやすい説明をパンフレットなどに書くと、見に来る人が歴史についてより深い理解を得られると思う。
- ・若い人も楽しめるような工夫があると嬉しい。
- ・馬の埴輪を探せ！などのイベントをやって欲しい（古墳に関心を持ってもらうため）。

4.群馬の古墳の知名度アップ計画書

私が調査して考えた改善案は以下の通りだ。

1.観光客が訪れやすい古墳に

私が訪れた5つの古墳のうち、整備が足りないと感じた古墳は3つ。また、その他の古墳も、整備について問題点があると感じた。そこで考えた改善案は、

- | | |
|--|----|
| <ul style="list-style-type: none">・歩きやすい道になるように整備。・階段をもう少し緩やかにする。できる箇所はスロープの設置・休憩スペースの設置。・解説板や案内表示の設置 | など |
|--|----|

である。ただし住宅地の中にある古墳もあるため、そこは、この計画が実現したときに住民と相談するべきである。

2.古墳に興味をもってもらおう！

今回私が訪れた古墳のうち、2つは全く知らない古墳だった。しかも、それらの古墳は私がよく行く店のすぐ近くにあり、とても驚いた。また、インターネットで調べて出てきた古墳も初めて聞くものばかりだった。私のような人は他にも大勢いるのではないかと考え、「古墳巡りクイズラリー」というイベントを考えた。内容は下記の通りだ。

古墳巡りクイズラリー

《目的》古墳に興味をもってもらうため。

《概要》

- ・群馬県内にある古墳を巡ってもらい、そこに行けば分かるクイズを解いてもらう。
- ・全く整備されていない古墳、訪れるのが大変すぎる古墳は対象としない。
- ・巡る古墳が多すぎても飽きてしまうので、10箇所程度のクイズをつくる。ただし、特徴がほとんど同じ古墳ばかりを巡らせないようなクイズにする。
- ・住んでいる地区によって巡ってもらう古墳を変えたり、年齢によって問題の難易度を変えたりと工夫をする。
- ・すべてのクイズを解いた方には、景品をプレゼントする。

このイベントの案は、群馬県立歴史博物館のクイズラリーからヒントを得た。この博物館のクイズラリーは、館内をまわってクイズに答え、景品として缶バッジをもらうという流れだが、このイベントではそれを群馬県で行い、景品をもらう流れだ。景品だが、缶バッジなどを工夫して、それぞれの年代に人気なキャラクターなどとコラボしたものにするればいいと思う。そうすれば、古墳に興味がない人の少しは参加してくれるのではないだろうか。キャラクターとコラボするとなると著作権的な問題で実現に時間がかかるかもしれないが、古墳に興味をもってもらうためにぜひ実現させたい。

3.アクセスしやすく

私が訪れた古墳関係の施設7か所のうち、一番アクセスしやすかったのは群馬県立歴史博物館だ。バスでも車でも自転車でも訪れやすそうだった。他の場所は、バスの本数が少なかったり駐車場がなかったりと、不便なところがあった。特に、古墳自体が整備されていないところはアクセスも悪かった。もっと、バスの本数を増やしたり、駐車場をつくらなければならないと思う。と言っても、観光客が来なければ増やしても意味はないし、予算的な問題もあるため、まずは別の案で古墳を賑わせてからこの問題を解決するのが妥当だと思う。

4.古墳のことをもっと知ってもらおう

イベントを作ったり、古墳を整備したりしても、それを知らせないと観光客は来ない。そこで、広告やパンフレット、SNSなどで情報を発信する必要がある。イベント内容や交通案内を伝えるとともに、古墳の面白い情報を載せるなどすれば、古墳に興味をもってくれる人が増えるのではないだろうか。実際私は、古墳や博物館を訪れたときにリーフレットをいただいたが、一部ふりがながついていなかったり、日本語版しかなかったりしたため、そのような点についても工夫していくべきである。



←いただいたリーフレット（かみつけの里博物館、群馬県立歴史博物館、
観音山古墳）

以上が私の考えた改善案である。これらの案を実現させて、群馬の古墳等に観光客がたくさん訪れて、群馬が古墳で有名になればと思う。

5.参考文献

◎Webサイト

- <https://kofun.jp/diary/20160303>
- <https://www.pref.gunma.jp/page/5152.html#pagetop>

◎資料

- かみつけの里博物館 infomation
- 綿貫観音山古墳の世界
- 史跡 観音山古墳

◎謝辞

アンケートにご協力いただいた皆様、歴史を説明していただいたり、質問に答えてくださったりした方々、本当にありがとうございました！！